

# 松田川総合開発事業 松田川ダム



栃木県安足土木事務所

〒326 栃木県足利市伊勢町4-19  
TEL0284-41-2331(代) FAX0284-41-6373

松田川ダム管理所

〒326-01 栃木県足利市松田町3450  
TEL0284-61-1597 FAX0284-61-1597

# 松田川ダム建設の目的

松田川ダムは、多目的ダムとして建設されました。

## 1 洪水調節

ダム地点の計画高水流量 $57\text{m}^3/\text{s}$ のうち $55\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い、ダム地点より下流松田川沿川地域の水害を防止します。

## 2 流水の正常な機能の維持

異常気象の渇水時においても、魚の保護や動植物の生育および河川景観上必要な流量の確保を図りながら、灌がい用水の取水を可能にします。

## 3 上水道用水の新規開発

水需要の増大に対処するため、足利市の水道用水として新たに日量 $5,100\text{m}^3$  ( $0.060\text{m}^3/\text{s}$ ) の取水が可能となります。

## 事業の経過

昭和51年度	予備調査開始
昭和56年度	実施計画調査開始
昭和60年度	建設工事着手
平成2年4月	林道工事施工開始
平成2年12月	本体発注
平成3年3月	基礎掘削開始
平成4年8月27日	堤体コンクリート打設開始
平成4年10月16日	定礎式
平成5年4月12日	5万 $\text{m}^3$ 打設
平成5年8月30日	10万 $\text{m}^3$ 打設
平成6年6月15日	堤体コンクリート打設完了
平成6年11月10日	試験灌水開始
平成7年11月7日	竣工式
平成8年3月	事業完了

## 松田川ダムのできるまで



①H3.9 基礎掘削状況



⑤H4.10.16 定礎式



②H4.7 原石山状況



⑥H5.7 堤体状況



③H4.8 基礎掘削完了



⑦H6.11.10 湛水開始



④H4.8.27 堤体コンクリート初打設



⑧H7.9 全 景

# ダ ム 諸 元

位 置	栃木県足利市松田町原畑地先
河 川 名	利根川水系一級河川松田川

ダ ム	
形 式	重力式コンクリートダム
堤 高	56.0m
堤 頂 長	228.0m
堤 体 積	166,400m <sup>3</sup>
天 端 標 高	EL.249.0m
堤 頂 幅	5.0m

取 水 設 備	
ゲ ー ト 形 式	直線多重式鋼製ローラーゲート1門(3段扉)

治 水 計 画	
計 画 日 雨 量 (計画確率年80年)	210mm
基 本 高 水	昭和49年9月型洪水
計画高水流量(ダム地点)	57m <sup>3</sup> /s
計 画 放 流 量	2 m <sup>3</sup> /s (最大 4 m <sup>3</sup> /s)
調 節 流 量	55m <sup>3</sup> /s
洪水調節容量	700,000m <sup>3</sup>

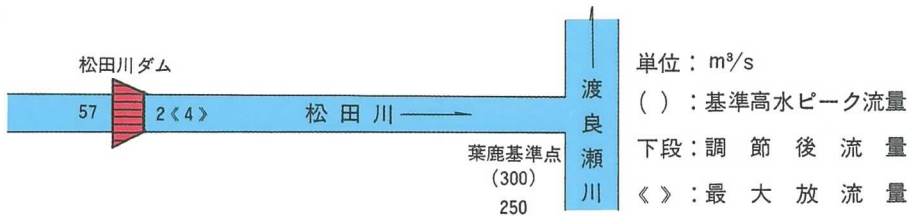
貯 水 池	
集 水 面 積	4.0km <sup>2</sup>
湛 水 面 積	0.113km <sup>2</sup>
総 貯 水 容 量	1,900,000m <sup>3</sup>
有 効 貯 水 容 量	1,800,000m <sup>3</sup>
堆 砂 容 量	100,000m <sup>3</sup>
最 低 水 位	EL.214.0m
常 時 満 水 位	EL.238.5m
サーチャージ水位	EL.246.0m
設 計 洪 水 位	EL.247.5m

利 水 計 画	
不 特 定 補 給	下流農業用水 (147ha) への補給及び維持流量の確保
新規用水への補給	水道用水0.06m <sup>3</sup> /sの新規取水
利 水 容 量	1,100,000m <sup>3</sup>

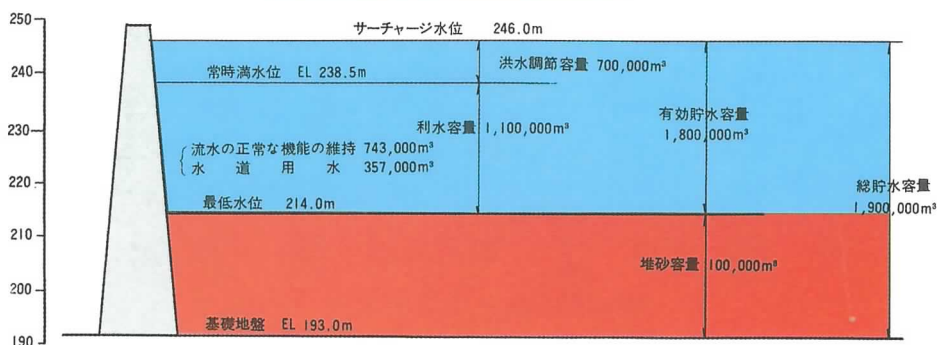
放 流 設 備	
常用洪水吐き	オリフィスによる自然調節 高さ0.7m×幅0.6m×1条
非常用洪水吐き ダム設計洪水流量 175m <sup>3</sup> /s	クレスト自由越流 越流水深1.5m×越流幅13.0m×4門
利水放流設備	ジェットフローゲートφ250
水位低下放流設備	ジェットフローゲートφ700

補 償 概 要			
種 別	細 別	別	数 量
土 地	山 林 ・ 田 ・ 畑		27ha
立 竹 木	用 材 林 等		39ha
建設及び工作物	住 家		2戸
	非 住 家		1戸
	固 定 工 作 物		1式
	移 動 工 作 物		1式
通常損失	移 転 雑 費		1式
	墳 墓 移 転 費		1式
電 柱	電 柱 ・ 電 話 柱		1式

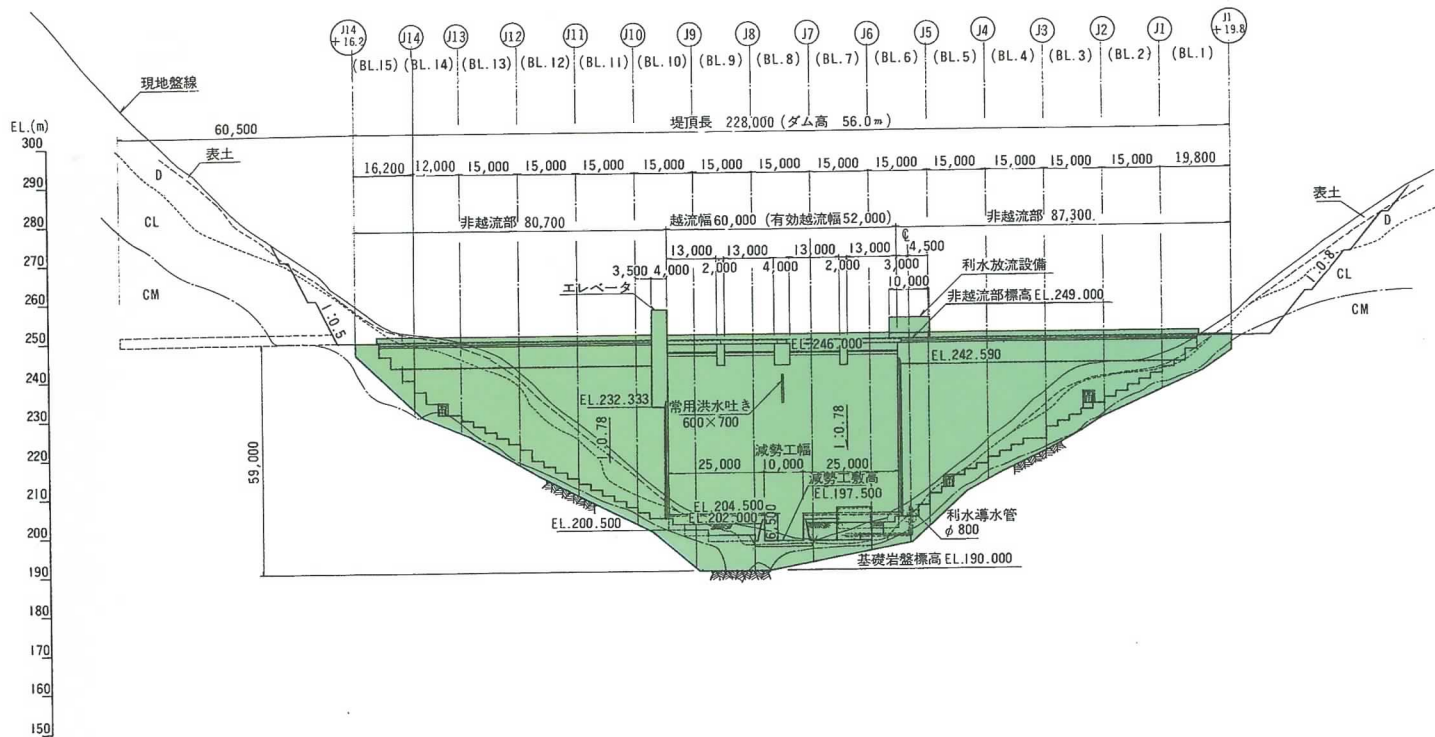
## 計 画 高 水 流 量 配 分 図



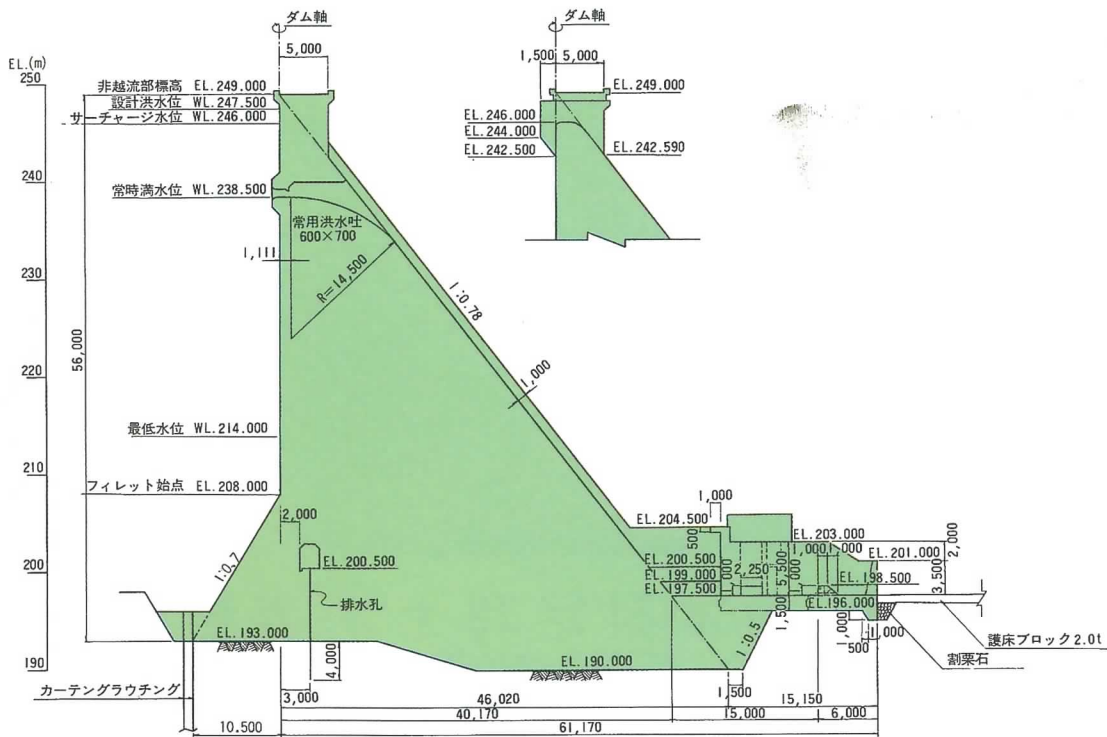
## 貯 水 池 容 量 配 分 図



# ダム下流面図



# 標準断面図



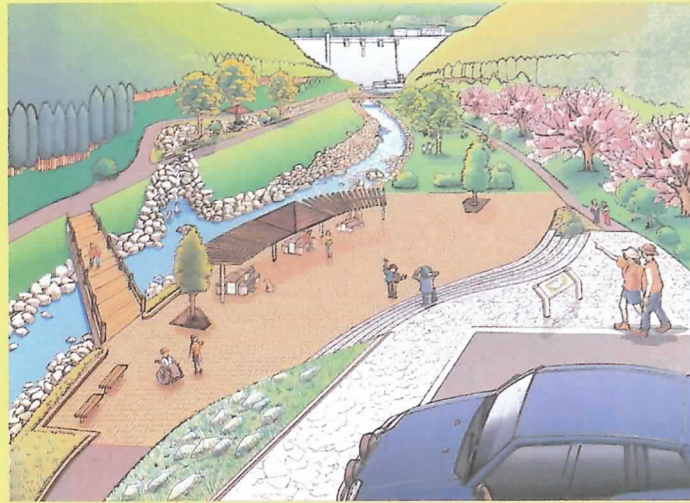
松田川ダム周辺施設案内図



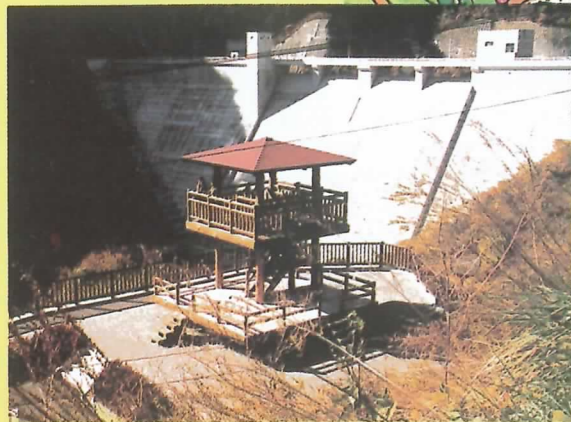
右岸展望台



まつだ湖畔キャンプ場



ダム下流溪流レクリエーション広場



左岸下流展望台



メモリアル広場



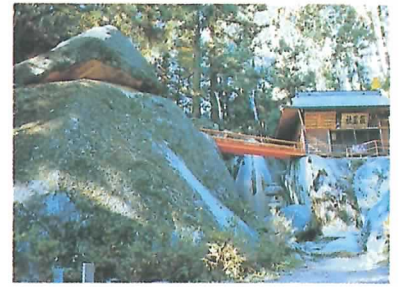
左岸上流展望台

**将門伝説の  
鶏足寺**

大同4年(809)定恵上人によって開創された名刹で、初めは世尊寺といいましたが、平将門が朝廷にそむき乱をおこした「天慶の乱」に際し、将門調伏の祈願の折、「三本足の鶏」の奇瑞を現わしたことから勅命により鶏足寺と改められました。  
国指定の重要文化財「力王の太刀」、「鶏足寺の印」のほか、数々の文化財が指定されています。

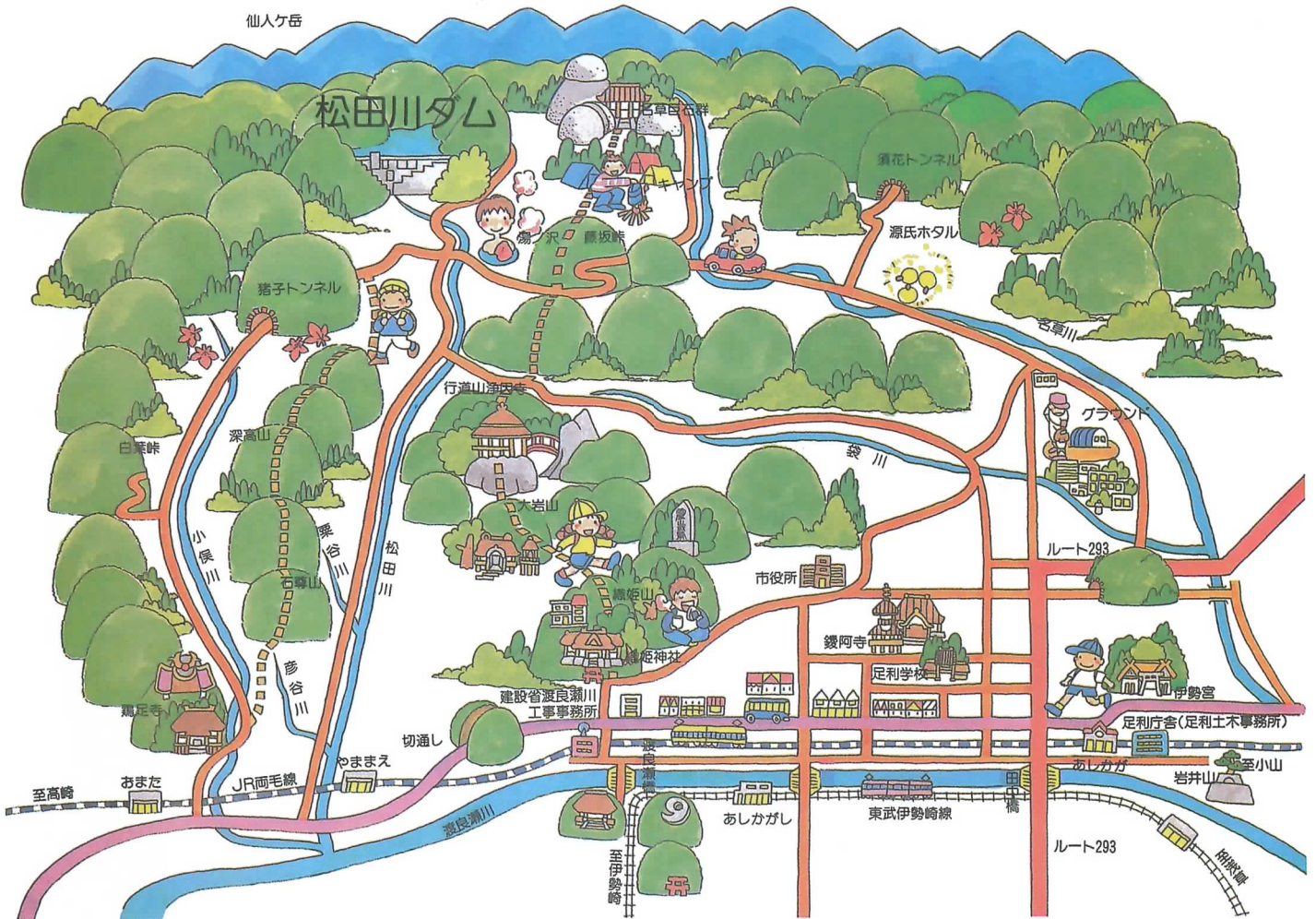


**行道山浄因寺**  
「関東の高野山」とも呼ばれ、和銅7年(714)行基上人の開創と伝えられる名刹です。



**名草巨石群**  
国の天然記念物に指定されており「胎内くぐり」で知られる高さ11m余、周囲30m以上もある御供石や弁慶の手割石など巨石、奇岩が重なり合っています。

**松田川ダム案内図**



**織姫神社**  
1200年余の歴史と伝統を誇る足利織物の守り神としてまつられた神社です。



**鑢阿寺**  
源姓足利氏2代目義兼が建久7年(1196)邸内に仏堂を建て、守り本尊の大日如来を祭ったのが始まりで、3代目義氏が堂塔伽藍を建立し足利氏一門の氏寺としました。

**国指定史跡  
足利学校跡**

「日本最古の総合大学」といわれ、その創設については諸説がありますが鎌倉時代の初期、足利義兼が足利学校を興したとする説が有力とされています。天文～天正年間が最盛期で、第七代座主(校長)九華の頃には全国各地より学徒3,000人が集まり、事実上日本の最高学府の位置にありました。その様子は宣教師フランシスコ・ザビエルより「日本国中最も大にして有名なる坂東の大学……」と海外にも伝えられました。

